

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション  
 コード番号 3370 URL <http://www.fujitacorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 藤田 博章  
 (氏名) 清水 清作

TEL 0144-84-8888

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,225	△5.7	10	212.3	△36	—	△44	—
25年3月期第2四半期	3,421	△14.6	3	△92.5	△39	—	△58	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△49.51	—
25年3月期第2四半期	△66.16	—

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	5,833	331	5.7	371.79
25年3月期	6,307	373	5.9	418.55

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 331百万円 25年3月期 373百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,399	△8.4	153	17.2	60	49.3	20	△1.1	22.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	891,600 株	25年3月期	891,600 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	891,600 株	25年3月期2Q	891,600 株

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する成長戦略のもと、緩やかな持ち直しの動きがあり、一部の業種においては、消費税増税前の駆け込み需要が予想される等、回復基調で推移しております。

当社が属する外食産業及び小売業におきましては、消費者の節約志向は依然として強いことや、外食産業は円安に伴って食材価格の値上がり相次いでおり、引続き厳しい経営環境が続いております。

このような経済状況のもと、当社は不採算店舗の閉店や譲渡を進め、経営改善につとめてまいりました。

店舗展開につきましては、2店舗の閉店、4店舗の譲渡、1店舗を譲受により出店いたしました。これにより、当第2四半期会計期間末現在の当社の展開業態は前年同四半期末から3業態減の21業態となり、稼働店舗数は前年同四半期末に比べ5店舗減の101店舗となりました。また、当社がフランチャイザーとして事業展開しております「BOOK・NET・ONE」加盟店を1店舗新規出店し、加盟店舗数の合計が23店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、フランチャイジー事業の主力業態における販売促進施策の見込み違い等により、売上高3,225百万円（前年同四半期比5.7%減）となり、売上原価及び販売費及び一般管理費等のコスト削減に努めたことにより、営業利益10百万円（同212.3%増）、経常損失36百万円（前年同四半期、経常損失39百万円）となりました。また、特別利益に資産除去債務戻入益6百万円及び特別損失に店舗閉鎖損失10百万円等を計上したことにより、四半期純損失44百万円（前年同四半期、四半期純損失58百万円）となりました。

セグメント別の情報は、次のとおりであります。

#### ① 飲食部門

当第2四半期累計期間における飲食部門におきましては、フランチャイジー事業は本部主導の販売促進活動及び新商品の投入を、オリジナルブランド事業は季節商品の投入を継続して行うとともに、ブランドイメージ向上のために老朽化した店舗の改装や修繕を行ってまいりました。

飲食事業の店舗展開におきましては、1店舗を改装、2業態3店舗の譲渡、1店舗を閉店し、当第2四半期会計期間末の店舗数は75店舗となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,247百万円（前年同四半期比4.8%減）、セグメント利益14百万円（前年同四半期、セグメント損失8百万円）となりました。

#### ② 物販部門

当第2四半期累計期間における物販部門におきましては、フランチャイジー事業は本部主導の販売促進活動や、さらなる集客増のための改装を行い、オリジナルブランド事業はインターネットでの通信販売のほか、店舗内でイベントを開催するなどして、売上獲得につとめてまいりました。

物販事業の店舗展開におきましては、物販事業の主力業態でありました「TSUTAYA」1店舗の譲渡のほか、2店舗の改装、1店舗の閉店、1店舗を譲受により出店し、当第2四半期会計期間末の店舗数は26店舗となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は977百万円（前年同四半期比7.8%減）、セグメント損失4百万円（前年同四半期、セグメント利益11百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,136百万円となり、前事業年度末に比べ343百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が270百万円、売掛金が50百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,692百万円となり、前事業年度末に比べ129百万円減少いたしました。これは主に建物が63百万円、敷金及び保証金が35百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は5,833百万円となり、前事業年度末に比べ474百万円減少いたしました。

### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,489百万円となり、前事業年度末に比べ325百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が140百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は3,012百万円となり、前事業年度末に比べ107百万円減少いたしました。これは主に社債が59百万円、長期借入金が38百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は5,502百万円となり、前事業年度末に比べ432百万円減少いたしました。

### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は331百万円となり、前事業年度末に比べ41百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失44百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は5.7%（前事業年度末は5.9%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,266,643	996,427
売掛金	307,951	257,863
商品及び製品	659,751	615,684
原材料及び貯蔵品	45,750	46,409
その他	200,607	220,389
流動資産合計	2,480,703	2,136,773
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,611,780	1,548,361
工具、器具及び備品（純額）	282,407	266,518
土地	573,649	573,649
その他（純額）	73,929	70,861
有形固定資産合計	2,541,766	2,459,390
無形固定資産	151,656	150,257
投資その他の資産		
投資有価証券	219,982	225,046
長期前払費用	46,341	33,358
敷金及び保証金	829,778	794,770
その他	57,390	54,360
貸倒引当金	△25,000	△25,000
投資その他の資産合計	1,128,493	1,082,536
固定資産合計	3,821,916	3,692,185
繰延資産	5,363	4,765
資産合計	6,307,983	5,833,723
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	198,169	139,051
1年内償還予定の社債	118,600	118,600
短期借入金	620,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	1,497,795	1,418,853
未払法人税等	16,857	10,276
その他	363,490	322,672
流動負債合計	2,814,912	2,489,454
固定負債		
社債	427,100	367,800
長期借入金	2,462,675	2,424,457
資産除去債務	18,064	9,282
その他	212,054	211,239
固定負債合計	3,119,894	3,012,779
負債合計	5,934,807	5,502,233

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	388,153	388,153
資本剰余金	47,702	47,702
利益剰余金	△78,426	△122,568
株主資本合計	357,428	313,287
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,746	18,202
評価・換算差額等合計	15,746	18,202
純資産合計	373,175	331,490
負債純資産合計	6,307,983	5,833,723

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,421,419	3,225,522
売上原価	1,293,005	1,233,409
売上総利益	2,128,414	1,992,112
販売費及び一般管理費	2,125,177	1,982,005
営業利益	3,236	10,107
営業外収益		
受取利息	537	306
受取配当金	3,899	1,468
不動産賃貸料	80,056	80,230
その他	2,628	1,888
営業外収益合計	87,122	83,893
営業外費用		
支払利息	59,866	58,019
不動産賃貸原価	62,626	64,702
その他	7,839	7,955
営業外費用合計	130,333	130,677
経常損失(△)	△39,973	△36,675
特別利益		
固定資産売却益	—	1,356
固定資産受贈益	12,120	—
資産除去債務戻入益	—	6,727
特別利益合計	12,120	8,084
特別損失		
固定資産除却損	62	47
店舗閉鎖損失	25,687	10,385
特別損失合計	25,750	10,433
税引前四半期純損失(△)	△53,604	△39,024
法人税、住民税及び事業税	5,381	5,116
法人税等合計	5,381	5,116
四半期純損失(△)	△58,985	△44,141



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△53,604	△39,024
減価償却費	166,775	129,412
資産除去債務戻入益	—	△6,727
店舗閉鎖損失	25,687	10,385
受取利息及び受取配当金	△4,437	△1,775
支払利息	59,866	58,019
社債発行費償却	403	598
固定資産受贈益	△12,120	—
固定資産除売却損益(△は益)	62	△1,308
売上債権の増減額(△は増加)	△18,523	50,088
たな卸資産の増減額(△は増加)	129,213	42,476
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,424	△25,700
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,756	△58,048
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,884	△10,415
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△35,793	△35,750
預り保証金の増減額(△は減少)	△17,527	7,692
小計	208,707	119,920
利息及び配当金の受取額	4,437	1,775
利息の支払額	△57,116	△63,415
法人税等の支払額	△10,249	△11,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,778	46,799
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△308,040	△35,026
定期預金の払戻による収入	280,362	377,101
投資有価証券の取得による支出	△1,297	△1,264
有形固定資産の取得による支出	△136,191	△54,518
固定資産の売却による収入	2,704	25,000
無形固定資産の取得による支出	△4,153	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	2,028	1,277
長期貸付金の回収による収入	4,439	3,031
敷金及び保証金の回収による収入	13,525	36,515
その他	△47,285	3,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193,907	355,661
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△31,834	△140,000
長期借入れによる収入	750,000	1,050,000
長期借入金の返済による支出	△941,397	△1,167,159
社債の発行による収入	296,973	—
社債の償還による支出	△35,000	△59,300
リース債務の返済による支出	△6,292	△7,315
その他	△8,382	△6,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,066	△330,601
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,062	71,859
現金及び現金同等物の期首残高	146,257	166,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	122,194	238,072

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。